



2012年 1月

No. : 27

《発行者》医療法人畏敬会井野辺府内クリニック

院長：井野辺 義人

大分県大分市府内町1丁目3-23

TEL:097-533-0255

http://www.inobe.or.jp/

## 謹賀新年

## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年は未曾有の大震災が東北を襲いそのショックに飲み込まれた、忘れることのできない1年となりました。当初は事の深刻さに呆然としてしまいましたが、次第に日本全体が援助のため献身的に協力し、また、被災された方々の懸命に生きる姿も皆に勇気を与え、希望を捨てずにお互いに頑張れたのではないかと思います。私たちの持っている力を信じるとともに1日でも早い物理的、精神的な復興をお祈り申し上げます。またこの教訓が生き、災害対策、エネルギー問題に対する現実的な対応策が早急になされることを期待しております。

さて、クリニックにとって昨年は日本で一番小さな老健を設立することができ、大きな節目の年となりました。

また、1階部分の通所リハビリテーション拡張にも着手することができました。

いずれも患者様のニーズの大きかった分野ですので、限られた敷地内で何とか実現できたことは大変意義深く感じます。現場スタッフも新体制に徐々に慣れ、軌道に乗ってきました。

年末には健診センターが政府管掌指定機関に任命されることも内定しました。地域の方々に医療、介護、予防で包括的に貢献できる形が整ってきております。日本全体では医療崩壊が叫ばれ数年になりますが、こちらはまだ復興道半場の状態でしょう。

時間はかかるとは思いますが、目の前のなすべきことを着実にやっていくことが最も大切です。

今年もスタッフとともに地道な努力を積み重ねていき、さらなる内容の充実に取り組みたいと考えております。



## 施設紹介：『いのべ訪問介護ステーション』

いのべ訪問介護ステーションとして誕生し、今年の1月で14年を迎えました。当ヘルプーステーションには、幅広い年齢層のヘルパーが30名在籍しています。

住み慣れた地域、自分の家、そして使い慣れた品物がある自分の部屋で過ごしたいというのは、誰でも願っている事だと思います。ホームヘルパーは、在宅で生活する利用者様の困っている部分の支援をいたします。

利用者様が在宅生活を継続していただけるように、ケアマネージャーを中心に、訪問看護ステーションや通所リハビリテーションのスタッフの方々と連携を取りながら仕事をしています。

『すぐに！が最高のサービス』と、考えています。

『いつも明るい笑顔』を、合言葉にこれからも利用者様を第一に考え頑張りたいと思います。



## 老人保健施設 ふない

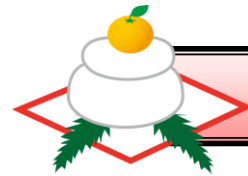


12月23日に民謡と子供神楽の可愛らしい子供たちが、それぞれの厳しい稽古で培った伝統芸能を披露してくれました。お孫さんや曾孫さんに重ね合わせたり、感動で涙する方もいました。

舞いが終わった後、利用者様に駆け寄りお祝いなど、お年寄りを敬う優しさ、礼節を身につけていることに更に感激！素敵なクリスマスプレゼントになりました。



24日には製菓学校の生徒さんがクリスマスケーキを作ってくれました。『きれい食べるのがもったいない！』と話しつつ、ペロリ…完食！でした。2012年も利用者様と共に笑顔が絶えない“老健ふない”を目指します。



## 通所リハビリテーション 餅つき



通所リハビリテーションは12月29日に餅つきを行いました。皆さん手馴れた様子で、次々とおもちを丸めていきます。



立派な鏡餅ができました！

